

新可動堰の管理橋で歓声 ～大河津分水周辺親子見学ツアーを実施しました～

信濃川河川事務所では、夏休みの特別イベントとして、小学生とその保護者を対象に、大河津分水周辺親子見学ツアーを開催しました。

新可動堰では、当日、ゲートの動作点検が行われており、水を堰き止めていたゲートが持ち上がると、水が勢いよく流れ始め、参加者から歓声が上がっていました。

一部を保存している旧可動堰については、80年以上も前に、4年間で造られたと説明したところ、参加者は驚いた様子でした。

堰の操作室では、設置されている機器が珍しいのか、食い入るように見るお子さんがいました。魚道観察室では、オイカワやドジョウの泳ぐようすを見ることができ、参加者は、「見えたよ」「流されるな」などと言いながら、写真を撮っていました。

参加者からは、「また参加したい」「良い見学会だった」などの好評をいただきました。

開催日時 : 平成26年 7月 26日(土) 9:00～12:00
開催場所 : 燕市五千石地先 信濃川大河津資料館及び周辺施設
参加人数 : 5組13人
主 催 : 信濃川河川事務所
当日の内容: 大河津資料館展望室 大河津分水全体の説明

旧可動堰	大河津分水建設の歴史や旧可動堰の説明
新可動堰	新可動堰の工事や仕組みの説明
堰操作室	洗堰、可動堰を操作する機器や堰の操作状況について説明
洗堰の魚道観察室	魚の観察と魚道の説明



新可動堰



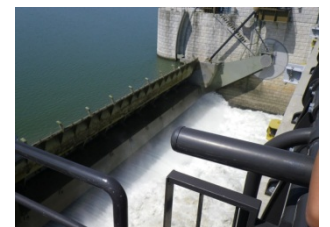
魚道観察室



堰操作室



休憩は質問タイムになりました



新可動堰から水が流れる様子

同時発表記者クラブ

新潟県政記者クラブ
新潟県政記者クラブ
長岡市記者会
長岡地域記者会
三条市記者室、業界紙

【問い合わせ先】

国土交通省 北陸地方整備局 信濃川河川事務所
広報担当 専門官 小林 正夫
電話 0258-32-3020(内線406)
FAX 0258-33-8168